

安全データシート(SDS)作成 2011年6月1日
最終改訂 2025年10月29日

1. 化学品及び会社情報

製品名	TASLF219 S30/135/M11.0
会社名	ソルダーコート株式会社
住所	愛知県名古屋市長田75-1
担当部門	
担当者	小島 征志
電話番号	052-891-8451
FAX番号	052-891-3324
メールアドレス	m_kojima@soldercoat.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	はんだ材料

2. 危険有害性の要約

GHS分類		
健康に対する有害性	急性毒性(経皮)	区分4
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	区分1A
	皮膚感作性	区分1A
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1
	水生環境有害性(急性)	区分2
	水生環境有害性(慢性)	区分2

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

H312: 皮膚に接触すると有害
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H318: 重篤な眼の損傷
H334: 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
H335: 呼吸器への刺激のおそれ
H360: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H370: 臓器の障害: 呼吸器系、消化器系
H372: 長期にわたる又は反復暴露による臓器の障害: 肺、眼、呼吸器系
H401: 水生生物に毒性
H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

ヒューム、ガス、蒸気、粉塵、ミスト、スプレーの吸入を避ける
目、皮膚、衣服への接触を避ける
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない
長時間または反復の曝露を避ける
取扱い後に手を十分に洗浄する
適切な保護具や換気装置を使用し、ばく露を避ける
作業中は飲食、喫煙をしない

応急措置

吸入した場合は新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の診断を受ける
皮膚に付着した場合は直ちに汚染した皮膚を石鹸と水で十分に洗い流し、
皮膚に炎症を生じたときには医師の診断を受ける
目に入った場合、直ちに多量の水で洗眼する
少なくとも15分間洗眼し、医師の診断を受ける
飲み込んだ場合、水で鼻、口及びのどをすすぐ
多量の水を飲ませて吐かせ、医師の診断を受ける

保管

冷暗所に保管する

廃棄

内容物、容器は国又は都道府県の規則に従って廃棄する

他の危険

該当なし

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名
成分及び含有量

TASLF219 S30/135/M11.0

物質名	化学式	CAS No.	官報公示整理番号	含有量wt%
錫	Sn	7440-31-5	対象外	残部
銀	Ag	7440-22-4	対象外	2.7
銅	Cu	7440-50-8	対象外	0.4
ロジン	C ₂₀ H ₃₀ O ₂	8050-09-7	(7)-935	4.0
添加剤	非公開	非公開	非公開	3.2
ジエチレングリコール モノヘキシルエーテル	C ₁₀ H ₂₂ O ₃	112-59-4	(7)-97	2.3
溶剤	非公開	非公開	非公開	0.8
活性剤	非公開	非公開	非公開	0.7

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努めその後速やかに
医師の手当てを受ける

皮膚に付着した場合

石鹼で洗い、水で十分に洗い流す

目に入った場合

直ちに清浄な水で15分以上瞼の裏側を含めて洗眼した後、眼科医
の診断を受ける

飲み込んだ場合

口をすすぎ医師の診察を受ける

予想される急性症状及び遅発性症状

吸入した場合：蒸気とミストは肺、気道上部を刺激する

皮膚に触れた場合：皮膚を刺激する

目に入った場合：粘膜を刺激する

医師に対する特別注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火薬剤、砂

使ってはならない消火剤

水

特有の危険有害性

火災によって刺激性又は毒性のヒューム、ガスを発生するおそれがある

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する

消火を行う者の保護

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する

消火作業の際は、適切な空気呼吸器や防護服(耐熱性)を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び

作業者は適切な保護具を着用する

緊急時措置

河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する

環境に対する注意事項

飛散したものを掃き集め、空容器に回収する

封じ込め及び浄化の方法・機材

火花を発生しない用具を使用する

二次災害の防止策

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い注意事項

換気及び保護具の着用

局所排気か全体換気を行う

適切な保護具や換気装置を使用し、ばく露を避ける

ヒュームの吸入を避ける

目、皮膚、衣服への接触を避ける

長時間または反復の曝露を避ける

取扱い後に手を十分に洗浄する

作業中は飲食、喫煙をしない

保管

冷蔵庫(0~10°C)に保管する

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度[mg/m³]

物質名	日本産業衛生学会	管理濃度	AGGIH
錫	-	-	2
銀	0.01	-	0.1
銅	-	-	0.2
ロジン	-	-	0.001

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸用保護具を着用する

手の保護具
 眼の保護具
 皮膚及び身体の保護具
 適切な衛生対策

適切な保護手袋を着用する
 適切な眼の保護具を着用する
 適切な保護衣、安全靴を着用する
 この製品を使用するときは、喫煙、飲食をしない
 取扱い後は手をよく洗う

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态
 融点
 沸点
 可燃性
 自然発火温度
 分解温度
 溶解度
 n-オクタノール／水分配係数(log値)
 蒸気圧
 密度
 粒子特性

高粘度クリーム状
 217-219℃
 データなし
 無し
 無し
 データなし
 水に不溶
 データなし
 データなし
 4.2
 データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
 化学的安定性
 危険有害反応可能性
 避けるべき条件
 混触危険物質
 危険有害な分解生成物

強酸化剤、酸類、強塩基類と反応
 常温・空気中で安定
 強酸化剤、酸類、強塩基類と反応
 直射日光及びはんだ付け以外の高温
 強酸化剤、酸類、強塩基類
 データなし

11. 有害性情報

急性毒性
 皮膚腐食性/刺激性
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
 呼吸器感作性
 皮膚感作性
 生殖細胞変異原性
 発がん性
 生殖毒性
 特定標的臓器毒性(単回ばく露)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露)
 誤えん有害性

分類できない
 皮膚に接触すると有害
 重篤な眼の損傷
 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 データなし
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
 臓器の障害:呼吸器系、消化器系
 長期又は反復ばく露による臓器の障害:肺、眼、呼吸器系
 データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性
 水生環境慢性有害性
 残留性・分解性
 生態蓄積性
 土壤中の移動性
 オゾン層への有害性

水生生物に毒性
 長期継続的影響によって水生生物に毒性
 データなし
 データなし
 データなし
 データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方
 公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託し行う
 廃棄物の処理を委託する場合は、処理業者等に危険性、有害性を
 十分告知の上で委託する
 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い処理すること

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意

国際規制
 国連番号
 品名
 クラス

非該当
 非該当
 非該当

容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
国内規制	
陸上規制情報	適用法令を参照
海上規制情報	適用法令を参照
航空規制情報	適用法令を参照
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送に際しては、直射日光を避け、水漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 輸送は保冷輸送(0℃～10℃)で行う

15. 適用法令

労働安全衛生法

第57条 名称等を表示すべき危険物及び有害物
 第57条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 第57条の3 リスクアセスメントを実施すべき対象物
 別表第九 15 すす及びその化合物
 別表第九 10 銀及びその水溶性化合物
 別表第九 22 銅及びその化合物
 別表第二 2274 ロジン

規則第594条の2第1項皮膚等障害化学物質等
 銀
 ロジン

PRTR法
化審法
消防法

第1種指定科学物質 82銀及びその水溶性化合物
 法第2条第5項優先化学物質 ジエチレングリコールモノヘキシルエーテル
 指定可燃物、可燃性固体類 ロジン
 第4類第三石油類危険等級Ⅲ非水溶性 ジエチレングリコールモノヘキシルエーテル
 法第2条第4項、施行令第3条の3指定物質 53銅及びその化合物
 施行令第9条の4 銅及びその化合物
 施行令別表第1有害液体物質

水質汚濁防止法
下水道法
海洋汚染防止法

Y類物質 ロジン

船舶安全法
航空法

Z類物質 ジエチレングリコールモノヘキシルエーテル
 危規則第3条危険物告示別表第1有害性物質 ロジン
 施行規則第194条危険物告示別表第1有害性物質 ロジン

使用される国又は地域で規制情報の確認をしてください

16. その他情報

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しており改正されることがあります
 注意事項は通常取り扱いを対象としたもので、特別な取り扱いをする場合は
 用途、用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい
 記載内容につきましては情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません